

琵琶湖森林づくり基本計画 進行管理および基本指標等達成度に対する点検・評価シート

I：基本施策【基本指標】

		H15(現状)	H22	H23	H24	H25	H26	進捗状況	H26(中期目標)	H32(長期目標)	達成率評価 (長期目標)	達成評価 (長期目標)	評価理由	審議会意見	対応方針
1 環境に配慮した森林づくりの推進															
(1) 多面的機能を発揮させる森林管理の推進	111 民有林に占める保安林面積の割合(%) (累計)	33 達成率(%)	34 24	35 40	35 40	35 40	35 40	森林の多面的機能を高度に発揮させるために、新たに88haを保安林に指定した。累計は64,884haで民有林の35%である。指定実績については官報告示された数量を計上しているが、今後告示されるものについて、約500haを予定している。	36	38	D	★★★	防災に関係する保安林、治山と間伐を均等に評価し、星3つとした。	間伐の目標が達成できるようさらなる取組が必要。	施業の集約化を推進し、引き続き間伐の取組を推進する。
	112 治山事業による保安施設整備割合(%) (累計) ※保安林面積に対する保安施設整備面積の割合	49 達成率(%)	58 53	58 56	58 56	58 57	58 57	荒廃林地の復旧・予防等により集約の保全と保安林機能の増進を図るため治山事業による保安施設整備を実施した。厳しい予算事情の中で災害発生箇所の復旧を優先するなど効果的に実施した。 195ha(40箇所)	61	65	C				
(2) 人工林の地域特性に配慮した森林整備の推進	121 除間伐を必要とする人工林に対する整備割合(%) ※人工林のうち1年間に除伐や間伐を必要とする森林(H31 3,100ha)に対して、その年に除伐や間伐を行った森林面積の割合	64 達成率(%)	97 108	81 90	62 90	66 73	62 62	平成23年度より国の政策の転換で、原則、搬出間伐のみが補助対象になった。事業実施に当たり、境界確定等に多くの労力・時間を要し、施業地の集約化の伸びが鈍化してきたことに加え、台風により間伐材搬出経路が被災し作業が遅れたため目標に達しなかった。	80	90	C				
2 県民の協働による森林づくりの推進															
(1) 県民の主体的な参画の促進	211 森林づくり活動を実践している市民団体等の数(団体・累計)	30 達成率(%)	112 68	120 75	127 81	139 91	163 111	活動に対する支援を行い、森林づくり活動が活発となり、森林づくり活動を実践する市民団体の数が前年より24団体増えた。	125	150	A	★★★★	3項目を均等に評価して星4つとした。	森づくりの団体や参加者が順調に増えてきている。団体や参加者に森林づくり活動の啓発を促すようPRしていく。	「森づくりネット・しが」や各種フォーラムの場を活用して、活発に普及啓発してもらえる団体等を増やすようPRしていく。
(2) 里山の整備・利活用の推進	221 里山整備協定林の数(箇所・累計)	0 達成率(%)	11 28	12 30	13 33	14 35	14 35	市町が主体となり、里山保全グループ等と協働で行う里山保全活動の箇所数は、前年と同じ14箇所であり目標と開きがある。ただし、里山保全活動は継続的に展開されている。	25	40	D				
(3) びわ湖水源のもりの日・びわ湖水源のもりづくり月間の取り組み	231 びわ湖水源のもりづくり月間の森林づくりへの参加者数(人)	1,583 達成率(%)	6,819 52	7,481 58	10,618 82	10,290 79	11,845 91	県広報誌やホームページ等での啓発や森づくり交流会などのイベント開催により月間における森林づくりへの参加を積極的に促し、参加者数は、前年と比較すると15%増となった。	8,000	13,000	A				
3 森林資源の循環利用の促進															
(1) 県産材の利用の促進	311 県産材の素材生産量(m3)	32,000(H20) 達成率(%)	43,000 36	67,000 56	59,000 49	62,000 52	56,000 47	住宅や公共施設の県産材利用について、県民に浸透するとともに、設計や建築関係者の意識や技術も向上するなど、利用面は着実に進展している。ただ、前年の災害等で生産量が減ったことから、需要に応えていけるよう、目標達成に向けて素材生産の一層の拡大に取り組み必要がある。	59,000	120,000	D	★★	達成率47%を評価し、星2つとした。	生産量をさらに増やしていけるよう関係者への指導を強化された。	境界明確化等を行いながら施業の集約化を進め、素材生産量を増大させて、12万m3の目標達成を目指す。
4 次代の森林を支える人づくりの推進															
(1) 森林所有者等の意欲の高揚	411 地域の森林づくりを推進する集落数(集落)	25 達成率(%)	60 60	62 62	80 80	82 82	89 89	森林経営に積極的に取り組む森林所有者等を育成するために、林業普及指導員が中心となって、市町や森林組合、林研グループなどと連携して、情報提供や技術指導等を行った。	87	100	B	★★★	2項目を均等に評価すると星3つとした。	特になし。	-
(2) 森林組合の活性化	421 森林組合の低コスト施業実施面積(ha)	80(H20) 達成率(%)	273 20	338 24	438 31	436 31	530 38	森林組合に対して、集約化施業を推進するために、森林施業プランナー研修や作業道オペレーター研修などを行ったが、採算が確実に見込める箇所を限定的に実施するなどし、目標に至らなかった。	660	1,400	D				

II：戦略プロジェクト【5年間の取り組み】

		H20(現状)	H22	H23	H24	H25	H26	進捗状況	H26(中期目標)	達成率の評価	達成評価	評価理由	審議会意見	対応方針
1 環境に配慮した森林づくり推進プロジェクト	● 環境林整備面積 (ha・累計)	422 達成率(%)	639 18	699 24	1,075 55	1,539 95	2,026 136	森林所有者が自ら整備することが困難な森林を対象に強度間伐と密度管理型の整備を進めており、新たに487haの事業を行い、累計は2,026haとなり、136%の達成率になった。	1,600	A	★★★★★	3項目を均等に評価すると星5つになるが、年間間伐実施面積の重要度を加味して星4つとした。	作業道開設延長の目標は達成しているものの、間伐の実績は低い。路網整備の実績に見合う間伐の推進が必要。	間伐の推進にあたり、国の補助制度を活用するとともに、県内の事情を勘案した単独事業についても、検討したい。
	● 年間間伐実施面積(ha)	2,525 達成率(%)	3,014 97	2,513 81	1,921 62	2,042 66	1,724 56	平成23年度より国の政策の転換で、原則、搬出間伐のみが補助対象になった。事業実施に当たり、境界確定等に多くの労力・時間を要し、施業地の集約化の伸びが鈍化してきたことに加え、台風により間伐材搬出経路が被災し作業が遅れたため目標に達しなかった。	3,100	C				
	● 年間作業道等開設延長(m)	26,115 達成率(%)	69,652 192	86,649 239	113,512 314	99,143 274	113,631 314	集約化施業の推進を行い、基盤整備における事業実績として林道開設431m、作業道開設113,200mであり、積極的な整備ができた。	36,200	A				
2 県民の協働による森林づくり推進プロジェクト	● 琵琶湖森林づくりパートナー協定(企業の森)締結数(累計)	3 達成率(%)	11 67	14 92	17 117	21 150	23 167	企業と森林所有者とが「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結し、企業の支援により森林整備が実施されている。企業の関心は高く取り組みは確実に広がっており、新たに2件の協定が締結されて、累計23件になった。	15	A	★★★★★	2項目とも目標を達成しているため星5つとした。	琵琶湖森林づくりパートナー協定について、目標値15カ所に対し実績値は23カ所であり、高く評価できる。	次期戦略プロジェクトの目標値を35カ所として、さらなる取組を進めていく。
	● 森林づくり活動市民団体年間延べ活動日数(日)	482 達成率(%)	539 72	555 74	935 125	1,030 137	862 115	国の新たな交付金事業を活用して44の活動団体へ支援を行った。このような活動支援が契機となり森林づくり活動が活発化し、活動団体数が増加した。活動日数は昨年の1,030日から862日へと減少したが、目標は達成できた。	750	A				
3 森林資源の循環利用促進プロジェクト	● 高性能林業機械導入数(台・累計)	6 達成率(%)	9 25	9 25	15 75	17 92	17 92	集約化施業による利用間伐の推進を図るため、労働安全衛生に配慮しつつ、作業の効率化・低コスト化に向けて、国の森林整備加速化事業等を利用して、高性能林業機械が導入された。	18	A	★★★★★	びわ湖材認証は目標達成しており、高性能林業機械導入はあと1台で目標値となることから星5つとした。	木材フェアなど県民がびわ湖材を目にする機会を増やし、利用者の裾野を広げる取組が必要。	木材流通促進にあたり、木材業者や工務店への働きかけだけではなく、県産材にふれる機会を設けるなど一般消費者に向けた普及も検討したい。
	● びわ湖材認証を行った年間木材量(m3)	9,595 達成率(%)	10,484 58	14,441 80	16,828 93	21,438 119	32,109 178	認定事業者が167者となり、認証した木材量が前年度より10,671m3増の32,109m3になるなど、「びわ湖材」の理解は木材関係者に浸透し、定着しつつある。	18,000	A				
4 次代の森林を支える人づくり推進プロジェクト	● 森林組合の木材生産に専門的に従事する作業員数(人)	0 達成率(%)	38 76	30 60	31 62	22 44	22 44	集約化施業を進めるために、素材生産を低コストで行う人材の育成に対して支援をおこなっているが、森林組合が雇用する木材生産を専門する作業員は前年から増減はなかった。	50	D	★★★	2項目を均等に評価すると星4つとなるが、森林組合の木材生産作業員数は目標値の半数以下であることから星3つとした。	素材生産の担い手について、森林組合だけではなく民間事業者の力をもっと活用して、生産量の拡大を図るべき。	素材生産の担い手育成にあたり、森林組合だけではなく民間事業者への指導・助言等の支援も行っていく。
	● 森林環境学習の年間受講者数(人)	12,928 達成率(%)	14,557 73	16,412 82	17,200 86	21,200 106	20,472 102	次代の森林づくりを支える人材育成のために、「やまのこ」事業を中心とした森林環境学習を行った。教育現場との連携も定着し、中期目標の2万人を超える20,472人が森林環境学習を体験することができた。	20,000	A				

達成率の計算方法
 ①実績が単年のもの： 実績値÷目標値
 ②実績が累計のもの： (実績値－現状値)÷(目標値－現状値)
 計算例 ①111保安林面積割合 (35-33)÷(38-33)=40%
 ②311県産材素材生産量 62,000÷120,000=52%

個々の取組の達成率の評価 A：90%以上 B：70-89% C：50-69% D：30-49% E：30%未満

基本施策・戦略プロジェクトの達成率の評価 ★★★★★：90%以上 ★★★★★：70-89% ★★★：50-69% ★★：30-49% ★：30%未満